

# R-ネット瓦版 第17号

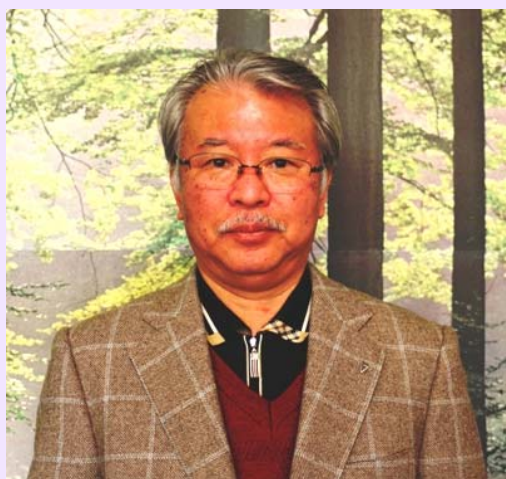
## ～病診・診診連携を考えるに～

平成21年4月より、5期10年山県郡医師会会長を務めていただいた岸明宏先生の後任となりました江川惠基です。どうか宜しくお願いいたします。

山県郡医師会は、広島二次保健医療圏の中で芸北地域の医療を守るため、安芸高田市医師会とともに頑張っている医師会です。

山県郡は、安芸太田町、北広島町の2町からなり、総人口は約2万7千人台を推移している中山間過疎地域です。医療機関は、安芸太田町内1病院、5医院、北広島町5病院、9医院で構成され、安芸太田町の町立安芸太田病院には、平成22年度より、安佐市民病院前院長の日高徹先生が病院管理者として活躍されています。山県郡医師会にとりましても、大変心強い存在となっていていただいています。

今回、「R-ネット瓦版」代表の大越裕章先生より原稿依頼があり、在宅医療について書かせていただきます。



人も、自分も、果たしてどんな形でどんな場所で最期を迎えるのか、還暦を過ぎたからかもしれませんがふとすることがあります。人間だれでも人生の最後は、可能であれば在宅で家族に見守られて看取ってもらいたいと思うのは当然のことと思います。私事ですが、昭和58年、父が60歳の還暦を迎えたばかりの時に、末期の肺癌で亡くなりました。旅先の長崎でたおれた医者である父は、家に連れて帰ってくれと泣いて家族に訴えました。無理を承知で点滴をしながら帰宅し、安堵の顔をしたのを記憶しております。自分も同じ立場に立てば、泣いて在宅を望むと思います。病に伏してからの2カ月間を在宅で看取ることができま

したが、現在の在宅緩和ケアであれば、2カ月をもっと違った形で看取れたのではないかと思うことがあります。

最近では、当院でも死亡診断書を書くことが次第に少なくなったことでも分かるように、在宅でなく病院での看取りが多くなりました。中山間地の在宅での看取りについて考えてみた時、はたして安らかな死を迎える事が出来る在宅緩和ケアが可能でしょうか。核家族化、少子高齢化が進む、これからの中山間過疎地域が抱えていく深刻な問題です。

平成23年2月に、圏域地对協研修会が「希望を叶える安楽な在宅緩和ケアにむけて」をテーマに三原市で開催されました。尾三圏域内の現状や静岡県立静岡がんセンター総長の山口健先生の在宅緩和ケアについての基調講演などがありました。癌だけでなく他の疾患にも対応できる、急性期・回復期・生活期が其々の機能をもった病院、在宅医、看護師、他の専門職種などの介護支援体制が、しっかり確立されている尾道医師会方式を講演の中で紹介されていました。シンポジウムの話の中で、癌患者さんが望み家族が受け入れて、在宅での看取りができた患者さんと家族の症例提示がありました。患者さんが、“ありがとう”の言葉を遺し死後の世界に旅立つ事が出来た、その事を知った家族・医療スタッフにとってはこの上ない喜びであり、患者・家族・医療スタッフが実践した在宅緩和ケアは、ひとつのかけがえのない物語であったろうと思います。山口先生の話の中で、“医学は科学、医療は物語”の言葉が印象に残りました。まさに、在宅医療の求められているところであると思います。

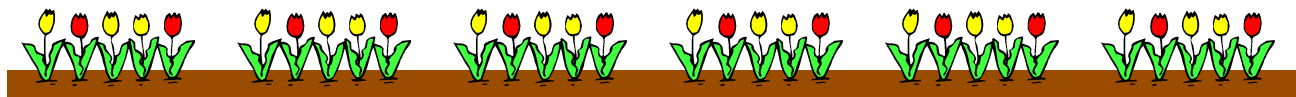
山県郡医師会も尾道方式の様な在宅緩和ケアのチームを組むことができればよいのですが、難しい面も多くあります。癌患者さんの在宅医療だけでなく、脳卒中患者さんの回復期からの受け入れとして、維持期をかかりつけ医が担うように多くの医療機関が安佐地区脳卒中連携パスに参加しています。安佐市民病院での脳卒中地域連携パスを利用し、脳卒中後遺症維持期の患者さんの在宅での受け入れが出来るように協力していきたいと思っておりますが、連携パスなどを利用する上でもチーム医療が必要不可欠であり、他職種と連携、医療資源の充実、介護福祉などの整備などができなければ在宅医療の発展はありません。

平成23年4月開業の安佐医師会可部夜間急病センターも安佐地区医師会員同士のチーム医療であり、安佐地域の病院や安佐市民病院での夜間の入院治療や手術患者の受け入れに一役も二役も買うものと思われま。

我々山県郡医師会も広島二次医療圏の中核病院である安佐市民病院を中心とした医療連携が、今以上に重要になると思っております。

世界一の超高齢化社会に突き進む長寿大国である我が国において、早期の在宅医療の環境整備や医療資源の確保が求められています。

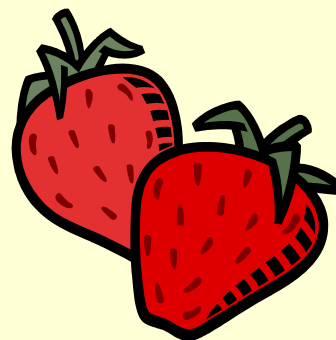
(山県郡医師会会長 江川 惠基)



### ◇ ◇ 皮膚・排泄ケア認定看護師の紹介 ◇ ◇

皮膚・排泄ケア認定看護師としての活動内容を紹介させていただきます。

現在は主にストーマ（人工肛門・人工膀胱）ケア、そして褥瘡予防・管理に取り組んでおります。ストーマ造設に伴う身体機能の変化は大変ショックなことであり、精神的なダメージが大きく、したがって事態の変化を認識し、立ち直るのは容易ではありません。また、ストーマ造設部位や術後合併症、術後ストーマケアが患者さまのQOLに多大な影響をもたらします。また、在院日数の短縮化に伴い、ストーマセルフケアに不安を残しつつ退院となるケースやストーマ保有者の高齢化など医療環境の変化に伴う問題が多々あります。そのため医療チーム、そして地域が連携・協働し患者さまおよび家族の支えとなり、退院後の生活を支援していく必要があります。



当院ではストーマ外来を運営しており、退院後の患者さまのストーマケアを定期的に実践しています。外来では退院後のストーマトラブルに対する予防的・治療的ケアから、ストーマケアに関する情報提供、日常生活の相談や指導を行っております。しかし、外来受診が困難な患者さまへの対応や転院後のフォローアップなどまだ多くの課題があり、今後はストーマケアの地域ネットワーク作りを行っていくことが求められています。

褥瘡発生予防のため褥瘡対策委員を筆頭に褥瘡リスクアセスメント（OH スケール使用）、マットレスの選定、ポジショニング、スキンケアなど積極的に取り組んでおります。入院時すでに褥瘡が発生している患者さまも多く、在宅や施設での褥瘡予防・管理の状況を把握し、必要であれば退院時には在宅や施設でも継続可能な治療・ケアを患者さま・ご家族そして、在宅支援のスタッフの方々と協議し、褥瘡根絶に向け努力しております。

今後も褥瘡の根絶とストーマケアの徹底を図り、患者さまのQOL向上に努めていきます。ストーマケア、褥瘡予防・管理でお困りの患者さまがおられましたら、是非ご紹介ご相談をお願いいたします。

(南5階病棟 神田 光太郎)

医師の異動についてお知らせいたします。



《平成23年3月31日付け退職者》

科名	役職	氏名
産婦人科	主任部長	三田尾 賢
	部長	永井 宣隆
	医師	濱崎 晶
精神科	主任部長	長田 昌士
心臓血管外科	主任部長	内田 直里
	医師	村尾 直樹
集中治療部	副部長	田村 健太郎
	医師	横山 晴子
整形外科	医師	土井 一義
	医師	力田 高德
	医師	住吉 範彦
呼吸器内科	医師	高山 裕介
血液内科	医師	今中 亮介
循環器内科	医師	梶川 正人
	医師	東 昭史
外科	医師	岸 直人
	医師	新津 宏明
皮膚科	医師	秋本 成宏
泌尿器科	医師	瀬野 康之
眼科	医師	北野 徳子
麻酔科	医師	三好 寛二
臨床研修医		川崎 広平
		松原 佳子



《平成23年4月1日付け採用者》

科名	役職	氏名
産婦人科	主任部長	てらもと ひでき 寺本 秀樹
	部長	てらもと みつえ 寺本 三枝
	医師	おかもと けい 岡本 啓
	医師	たかお ゆうこ 高尾 佑子
呼吸器内科	主任部長	きたぐち そういち 北口 聡一
	医師	やまぐち かくひろ 山口 覚博
小児科	部長	しおて ゆうこ 塩手 裕子

科名	役職	氏名
精神科	副部長	ひかさ さとし 日笠 哲
心臓血管外科	医師	おざわ まさみち 小澤 優道
消化器内科	医師	ひらの たいき 平野 大樹
血液内科	医師	よしだ てつみ 吉田 徹巳
循環器内科	医師	おちうみ ゆうすけ 落海 祐介
	医師	たきぐち ゆう 瀧口 侑
外科	医師	あみおか あい 網岡 愛
	医師	や の たくや 矢野 琢也
整形外科	医師	よしだ ともかず 吉田 友和
	医師	す が のりふみ 須賀 紀文
	医師	すみだ よしかず 住田 佳應
心臓血管外科	医師	こだま ひろし 児玉 裕司
皮膚科	医師	よしが てつろう 吉賀 哲郎
泌尿器科	医師	こぼたけ こうへい 小島 浩平
眼科	医師	ふくと あつひこ 福戸 敦彦
麻酔科	医師	かみさき りえ こ 神崎 理英子
	医師	いわさき ゆうすけ 岩崎 祐亮
	医師	なかむら ゆき 中村 有希
臨床研修医		かい ゆういちろう 甲斐 佑一郎
		きたうら じゅんや 北浦 順也
		ふなおか けい 船岡 慧
		まえたに ゆうた 前谷 勇太
		もり ようこ 森 洋子
	やまもと まさてる 山本 将輝	

## 診療科のご紹介シリーズ第2弾第5回 《心臓血管外科》

安佐市民病院心臓血管外科は、平成3年の開設以来、心臓および胸部から腹部の大血管、首から足先までの末梢血管の外科治療を行っています。

広島県北部で唯一の心臓血管外科を持つ病院として当科の診療圏は広く、広島市にとどまらず広島県北部地域一帯、そして島根県からも患者様が受診されます。大動脈瘤破裂や大動脈解離など、当科では緊急で対応すべき疾患も多く扱っており、広島県北部地域の緊急手術の必要な患者様の多くは当院へ搬送されてこられます。このような患者様に対して少しでも迅速な対応ができるよう診療圏内の病院と深く連携をとるとともに、当院の循環器科や麻酔集中治療科の協力のもと、救急医療体制を365日24時間態勢で整えています。また当院では最新のCT装置を導入しており、迅速な診断や詳細な術前の検査が可能となり、より安全な治療が行えるようになりました。最先端のステントグラフト治療も広島県でいち早く導入し症例を重ね、大きな手術が困難な高齢者や合併症を有する患者様にも治療を受けて頂くことができるようになっております。

近年の医療技術の進歩により手術の低侵襲化が進んだとはいえ、やはり心臓血管の手術は患者様にとっては大きい手術であり、治療を受けられる患者様、ご家族は不安も大きいことと思います。そのような患者様のお気持ちを少しでも和らげるため、我々スタッフは患者様やご家族に対して、常に明るく親切に笑顔で接することで安心して治療を受けて頂けるよう日々努力しております。

それでは、当科のスタッフの紹介をさせていただきます。

## スタッフ紹介

**片山 暁**（平成8年卒）：国内、海外留学の経験を基に、心臓から大血管、末梢血管に至るまで幅広い領域の診療を行っています。親切、丁寧さをモットーに、患者様に優しい診療を心がけています。

**小澤 優道**（平成13年卒）：当院で初期研修を行ったのち、フランスに臨床留学を行いたくさんの手術経験をしたあと、当院へ復帰しました。海外留学の経験を生かして、最先端の治療に取り組んでいます。

**須藤 三和**（平成14年卒）：心臓血管外科では珍しい女性医師ではありますが、仕事ぶりは男性顔負けです。不整脈の外科治療では国内でも有名であり、国際的にも活躍している女医さんです。

**倉岡 正嗣**（平成18年卒）：初期研修からずっと当院で研修を行っており、救急医療から一般外科に至るまで幅広い経験を積んできました。心臓外科医として伸び盛りの若手医師です。

**児玉 裕司**（平成21年卒）：広島大学病院で初期研修を行い、この4月から当科に仲間入りし、心臓血管外科医としての第

一步を当院で開始したばかりのフレッシュマンです。



**心臓血管外科外来**

当科の外来では、主に手術前患者様の診察と術後患者様の定期検査を行っております。初診の患者様は、事前に紹介病院からの紹介状でできるだけ多くの情報を入手し、通院が一日ですむように努力しております。術後の患者様は、基本的に近所にかかりつけ医を持って頂き、お薬の処方をお願いしています。当科では、定期的に専門的な検査（CT撮影や心エコー検査）をして術後の健康チェックを行い、体調に関するご相談などをお伺いしています。

**心臓血管外科外来診療担当表**

	月	火	水	木	金
1 診	片山	須藤	小澤	倉岡	片山
緊急手術のため代診の場合があります。					

近來の生活習慣の変化のもと、動脈硬化による心血管の病気は増加傾向にあります。また、高齢化社会となり、治療を受けられる患者様の高齢化も進んでいます。そのような変化に対応するため、当科では常に最先端の心臓血管外科医療を志し日々努力を続けております。スタッフ紹介でもお分かりの通り、当科では若いメンバーで、若さを生かした元気いっぱいの診療を行っています。これからも安佐市民病院心臓血管外科をよろしくお願いたします。

(心臓血管外科副部長 片山 暁)



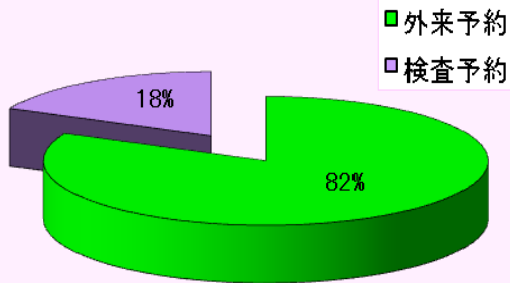
**平成23年1月～3月 病床利用状況**

科 別		新入院患者数	退院患者数	平均在院日数
内 科	総合内科	6	6	7.2
	循環器科	276	271	10.2
	消化器科	477	439	9.8
	内分泌科	37	31	13.4
	呼吸器科	174	173	22.0
	血液内科	71	64	32.0
	神経内科	81	79	21.9
	内科 計	1,122	1,063	14.2
外科		364	340	13.8
整形外科		271	252	46.3
脳神経外科		104	113	40.4
心臓血管外科		97	99	50.1
小児科		148	157	9.9
産婦人科		388	384	7.1
皮膚科		54	50	16.9
泌尿器科		188	174	13.5
耳鼻咽喉科		90	87	8.1
眼科		120	101	10.5
神経科		9	10	60.7
放射線科		20	23	46.0
麻酔科		50	34	6.3
リハビリ科		0	0	0.0
合 計		3,025	2,887	4.6

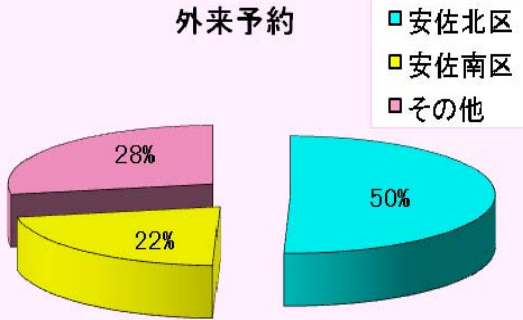
\*\*\*医療連携室よりお知らせ\*\*\*

医療連携システム利用状況(2010年度利用状況)

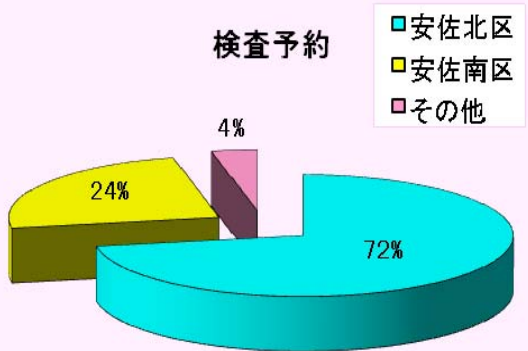
予約状況(全件数13,386)



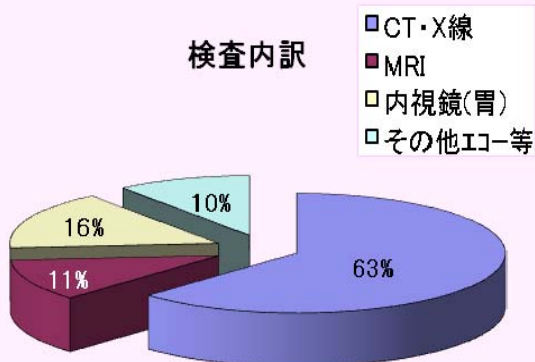
外来予約



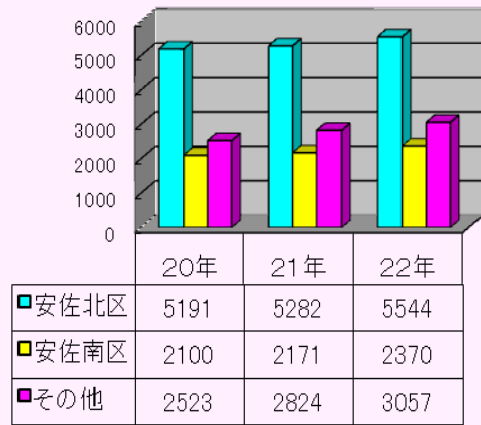
検査予約



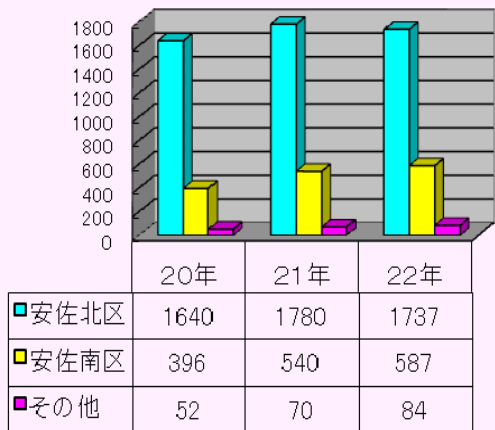
検査内訳



外来予約



検査予約



\*\*\*\*\*

平成22年度の紹介状況などをお示しました。

今後も更なる連携の充実をはかり、強化されるよう努力して参りたいと思っております。ご意見、ご要望等ありましたらお申し出ください。

また、医療支援センター副看護部長 森吉登美子の退職にともない、後任に、中林 八千代 副看護部長が就任いたしました。

今後ともよろしくお願いいたします。

【連絡先】

広島市立安佐市民病院 医療連携室  
 TEL 082-815-5211 (内線 3250)  
 FAX 082-815-5691

『R-ネット瓦版』編集WG  
 代表 大越 裕章

外 来 診 療 担 当 一 覧 表

平成23年4月1日

内科(消化器・呼吸器・血液・内分泌・循環器・総合)  
(3300, 3308)

	月	火	水	木	金
1診(消化器) (3302)	田丸	永田	大越	大越	木村
2診(消化器) (3303)	辻	嶋田	辻	鳩岡/宮木	桑原
3診(呼吸器) (3304)	菅原	江川	北口	菅原	江川
4診(血液) (3305)	田中	田中	兵頭	田中	田中
6診(内分泌) (3306)	小川	/	杉廣	/	杉廣
7診(循環器) (3307)	香川	佐々木	板倉	落海	瀧口
8診(総合内科) (3309)	随時変更	随時変更	随時変更	随時変更	随時変更

神経内科 (3600, 3601)

	月	火	水	木	金
1診 (3603)	山下	琴崎	山下	林	山下

循環器内科 (3391)

	月	火	水	木	金
1診 (3393)	土手	加藤	土手	佐々木	中野

心臓血管外科 (3391)

	月	火	水	木	金
1診 (3392)	片山	須藤	小澤	倉岡	片山
緊急手術のため代診の場合があります。					

外科(消化器・呼吸器・乳腺内分泌) 3320

	月	火	水	木	金
1診 (3321)	向田	佐伯	佐伯	向田	三村
2診 (3322)	吉満	杉山	多幾山	埜本	埜本
3診 (3323)	村上	平林	村上	村上	平林

整形外科 (3330, 3331)

	月	火	水	木	金
1診 (3332)	宮内	藤原	藤原	宮内	吉田
2診 (3333)	小林	三上	小林	真鍋	真鍋
3診 (3334)	/	住田	形成外科 中西	住田	/
午後	手術	検査	手術	検査	手術

脳神経外科 (3401)

	月	火	水	木	金
1診 (3402)	川本	村上	川本	吉岡	川本
2診 (3403)	村上	/	吉岡	米澤	岡村
午後	検査	手術	検査	手術	検査

小児科 (3310)

	月	火	水	木	金
1診 (3312)	和合	荒新	塩手	荒新	和合
2診 (3313)	古川	下岡	古川	下岡	塩手
午後	特殊外来	乳児検診	特殊外来	特殊外来	特殊検査

産婦人科 (3341)

	月	火	水	木	金
1診 (3342)	本田	寺本	谷本	寺本	寺本(三)
2診 (3343)	寺本	寺本(三)	本田	谷本	高尾
3診 (3344)	谷本	本田	寺本(三)	岡本	寺本

皮膚科 (3380)

	月	火	水	木	金
1診 (3381)	野田	野田	野田	吉賀	野田
2診 (3382)	梅田	吉賀	梅田	梅田	梅田
午後	手術	検査・手術	検査・手術	野田 (再診のみ)	手術

泌尿器科 (3410)

	月	火	水	木	金
1診 (3412)	手術	三田	手術	三田	三田 (初診・紹介)
2診 (3413)	手術	加藤	手術	加藤	手術 手加藤
3診	手術	小島	手術	小島	小島
午後	手術	検査	手術	検査	加藤/小島

耳鼻咽喉科 (3360)

	月	火	水	木	金
1診 (3361)	石井	岩田	岩田	石井	随時変更
2診 (3362)	三好	石井	三好	岩田	/
午後	特殊検査 小手術	手術	特殊検査 小手術	手術	手術

眼科 (3350, 3351)

	月	火	水	木	金
1診 (3352)	末廣	手術	末廣	末廣	末廣
2診	石田	手術	石田	石田	石田
3診	福戸	手術	福戸	福戸	福戸
午後	光凝固	手術	光凝固	手術	光凝固

精神科 (3370, 3371)

	月	火	水	木	金
1診	日笠	日笠	(日笠)	(日笠)	(日笠)
2診	(井上)	(井上)	井上	井上	(井上)
( )は初診・紹介の担当					

放射線科 (3721)

	月	火	水	木	金
診療	伊東	伊東	伊東	赤木	伊東
午後2時から 緩和ケア外来	藤本	伊東	伊東	伊東	田中 (午前のみ)
診断	小野 直樹 飯田	小野 直樹 飯田	小野 直樹 飯田	小野 直樹 飯田	小野 直樹 飯田

麻酔科 (3420)

	月	火	水	木	金
術前診察 (3421)	田中	田原	黒田	川井	久保

リハビリテーション科 (3600, 3601)

	月	火	水	木	金
午前 (3602)	/	/	/	長谷	古川/下岡
午後 小児言語	塩手	山下	古川	下岡	/

歯科 (3430, 3431)

	月	火	水	木	金
1診	阪本	阪本	阪本	阪本	阪本
	間島	間島	間島	間島	間島

(広島市立安佐市民病院)